

発達障害って何ですか？

宮城学院女子大学で学ぶ皆さんへ

理解と配慮のお願い

宮城学院女子大学
学生相談・特別支援センター
特別支援室

発達障害って何？

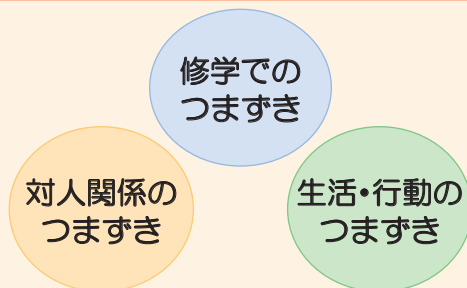
大学は、多様な人々が共に学び合う場所です。一人一人の性格や個性は異なっていて、その個性豊かな人のなかに発達障害のある学生もいます。発達障害といっても、その特徴は様々です。主には、自閉症スペクトラム障害、注意・欠如多動性障害、学習障害などがあります。

各障害の詳しい特徴は次ページ以降で説明しますが、物事の感じ方や考え方が大多数の人とは異なるために、日常生活や社会生活に何らかの困難が生じることがあります。原因は脳機能の障害といわれています。言語や認知機能に強みや弱みが生じやすく、大学生の場合、修学や大学生活に困難を抱えています。また、発達障害からくる共通の特性があっても、困難の内容や程度は一人ひとり違っています。

発達障害は、身体障害（聴覚・視覚・肢体不自由など）と比べて、外見からはその困難さを理解することが難しいです。能力の偏りがありますので、とても得意なことがある反面、ちょっとしたことが苦手だったり、社会的スキルが不足している場合もあったりして、周りから誤解されやすいのです。

発達障害のある学生は、障害の特性によるつまずきと、周りから十分な理解を得にくいために、とても苦労しています。しかし、周囲からの正しい理解と一人一人の特性にあった適切な支援があれば、学業や大学生活などをスムーズに行うことができます。みなさんの理解とちょっとした配慮が、発達障害のある学生にはとても助けになります。

発達障害学生の困りごと



1 自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder : ASD)

ASDは、社会性やコミュニケーション能力に困難さがあります。また、興味・関心の対象が限られた範囲に集中することも多いです。

1. 人とのかかわりが苦手
 - 相手や状況に合わせた行動が苦手
 - 他者と協力して行動するのが難しい
 - マイペースな対人行動
2. コミュニケーションが上手にできない
 - 言われたことをそのままの意味として受け取りやすい
 - 相手の状況や表情を読み取ることができない
 - 相手の気持ちを読み取ることができない
3. 興味や関心が狭く、特定のものにこだわる
 - 急に予定が変わるとパニックになる
 - 自分の思う通りにならないといらいらする
 - 感覚過敏



*上記は、自己診断するチェックリストではありません。発達障害の特徴をよりよく理解するためのものです。

2 注意・欠如多動性障害 (Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder : ADHD)

ADHD は、不注意、多動性、衝動性という、3つの症状が特徴です。不注意優勢型、多動性・衝動性優勢型、混合型と分類されます。自分をコントロールする力が弱く、それが原因となって行動面に問題が生じやすいです。

1. 不注意

- 周囲に気が散って集中できない
- 忘れ物が多い
- 片付けるのが苦手
- 約束した予定をよく忘れてしまう

2. 多動性

- いつも体のどこかを動かしている。
- いろいろな考えが、次々と頭の中に浮かびあがってきて、考えがまとまらない
- 段取りが苦手。そのため、課題に手をつけるのが遅れて、締め切りぎりぎりになる

3. 衝動性

- 欲しいと思ったら買わずにはいられない
- 相手が話している最中でも、割り込んでしまう
- ついつい余計なことをしてしまう

*上記は、自己診断するチェックリストではありません。発達障害の特徴をよりよく理解するためのものです。

3 学習障害 (Learning Disorder : LD)

LDは、知的発達の遅れはありませんが、話す、聞く、読む、書く、計算する、推論する能力のうち、特定の学習能力に困難さがあります。

1. 読み・書きが苦手

- 誤字・脱字が多い
- 手書きで文字を書くのがとても遅い、上手に書けない
- 本を読むのに時間がかかる

2. 聞く・話すは苦手

- 指示されたことと違うことをしてしまう
- 何から話をしていいかわからない
- 話をまとめることが苦手

3. 計算・推論が苦手

- おつりの計算をよく間違える
- よく迷子になる
- 文章題から式が立てられない



*上記は、自己診断するチェックリストではありません。発達障害の特徴をよりよく理解するためのものです。

こんなことで困っているよ！

対人関係の困りごと

- ガールズトークについていけない
- 相手の気持ちがよくわからない
- 集団活動で問題を起こしやすい
- 自分から人とかがかわることが苦手
- 周りの雰囲気をもよむのが苦手

修学の困りごと

- 履修計画が立てられない
- 読み書きが困難
- 質問に答えられない
- 発表ができない
- 欠席・遅刻が多い
- 試験日時やレポートの提出日をたびたび間違える
- 急な変更があると不安になる

日常生活での困りごと

- 自分の特徴（困難さ）がよく分からない
- スケジュール管理ができない
- 一人暮らしが困難（掃除・洗濯など）
- 整理整頓ができない
- 忘れ物が多い
- いらいらしやすかったり、不安が強かったりする



共通する接し方

これだけは覚えよう！

- ① 本人に悪気はないことを理解する。
- ② 具体的で簡潔なことばで、ゆっくり話す。
- ③ 考えをまとめて、返事をするまでに時間が必要なことを理解する。
- ④ 大事なことは繰り返し伝える。
- ⑤ 本人が得意なことや好きなことを見つけて、声をかける。
- ⑥ 感情のコントロールや気持ちの切り替えができない様子の時は、多くのことばをかけるのではなく、そっとしておく。

「あの人、困った人だなあ！」から

「あの人、もしかして困っているのかな？」へ



自分のことや友達のこと、何か心配などあれば、
いつでも相談にきてください！

宮城学院女子大学 学生相談・特別支援センター
特別支援室

開室時間：月～金（8：50～18：00）

TEL：022-277-6276 E-mail：shien2@mgu.ac.jp

イラスト：本学学生作